

第1分科会

貧困をもたらしたものの、自助という名の自己責任？
～もう一度確認しよう。権利として、社会保障を！～

【ねらい】

「長年連れ添った高齢夫婦の心中事件」「お腹いっぱい食事が取れない子どもたち」「熊本大地震でも繰り返される、避難所に避難できない障害者」「若者の半数が非正規」「住んでいる地域によって変わる福祉サービス」

様々な分野に貧困と格差が存在します。それぞれ別の問題ではなく根っこでつながっています。一方、富裕層をターゲットにした、様々な高額商品。

分科会では、各分野で起きている「貧困と格差」の実態を報告し合い、問題の本質について共有します。そして、各地での運動の経験を学び合い、明日からの実践に活かしましょう。

【報告】

* 保育園から見えてくる貧困問題(仮)

保育園園長

* 生活保護世帯の大学進学における諸課題 —生活保護世帯の大学生等実態調査から—

桜井啓太さん (名古屋市立大学)

* 相談支援から見える障害者の貧困

塚本道夫さん (社会福祉法人ゆたか福祉会・緑区障害者基幹相談支援センター)

* 高齢者の社会的孤立・貧困と社会保障(仮)

村上武敏さん (聖隷クリストファー大学)

【助言者】 山田壮志郎さん(日本福祉大学)

【進行】 大野健志さん (きょうされん愛知支部)